



## 編集月旦 十一月一日

★「月刊電子出版・丈風」は、ペーパー媒体の月刊誌のように全面新組とはせず、いま何が求められているかを編集の基準といたします。ですから**新情報・新資料**は初掲載ですが、月をまたいだ再録もあります。ただしタイトルは同じでも内容の数値の修正・補足・書き換えがなされています。当月号からバックナンバー・情報・資料・用語が検索できます。新媒体ゆえ模索しながら進めます。

★「高齢社会」づくりの活動は、「医療・介護・年金」（財政的には「高齢者3経費」）にかかわる高齢者対策とともに、「就業・生涯学習・生活環境・商品市場・三世代交流」といった高齢社会対策を含みます。「社会保障」（主に高齢者3経費）の財源をおぎなう「消費税増税」法案は、6月26日に衆議院、8月10日に参議院で採決されましたが、一方で同じ時期に学者と官僚主導で検討されていた新しい「高齢社会対策大綱」が11年ぶりに見直され、9月7日に高齢社会対策会議を経て閣議決定されました。

☆財源をおぎなう「消費税増税」法案を集中的に議論して採決にあたった国会議員の方々は、どんな「日本長寿社会」の姿を思い画いていたのでしょうか。8%さらに10%を実施するための前提となる持続的な経済成長をどこに求めるつもりでいるのでしょうか。

☆「高齢社会対策」の中・長期の指針である「大綱」については、見直しを指示した野田首相をはじめ多くの国会議員に内容の仔細な理解がありません。一般の高齢者にはほとんど知られておりません。現役記者は目前の経済への貢献をニュースとしましたが、高齢者の人生には関心が及びません。本来はすべての高齢者が知るべき「就業・介護・医療・生涯学習・生活環境・商品市場・三世代交流」といった暮らしの場への指針が広報されていないのです。これでどうして国際的に誇りうる「高齢社会」ができるのでしょうか。新世紀10年余り、わが国の「高齢社会」づくりは高齢者みんなが敬愛をうけて安心して過ごせるモデル事例から遠ざかり、“失敗例”へのプロセスにあるといわざるをえません。

☆新しい「大綱」には注目すべき画期的な指摘があります。それはこれまでの「人生65年時代」の「支えられる高齢者」（「消費税増税」の対象）にかかわって、「人生90年時代」の「支える高齢者」（「大綱」の指針の対象）の存在を明確にしたことにあります。今年3000万人に達した高齢者（ここは65歳以上）のうち、医療・介護を受けている2割ほどの「支えられる」人びとを除けば、多少の有訴はあっても8割近くのみなさんは「支える側の高齢者」なのです。

★新しい時代の内容を表現するために新しい器（ことば）を用いています。

- ・人生65年時代 → 人生90年時代(65+25年人生)
- ・少子・高齢化社会 → 日本型長寿社会(つりがね型社会)
- ・二世世代+α型社会の余生 → 三世代多重型社会の現役
- ・青少年期に1回の能力開発 → 高年初期(60~65歳)に2回目の能力開発
- ・国土の均衡ある発展 → (とともに) 個性ある地域の発展

★ことしの「敬老の日」(9月17日。第3月曜日)は、高齢者(65歳以上)が3000万人に達し(3074万人。高齢化率24.1%。総務省)、百歳以上が5万人に達し(5万1376人。男性6534人、女性4万4842人。厚労省)、世界最高齢の木村次郎右衛門さんが115歳で迎え(明治30=1897年4月9日生まれ。京丹後市)ました。

☆「国際高齢者の日」は10月1日です。ことしも国連大学で国連人口基金(UNFPA)が主催した公開シンポジウム「21世紀の高齢化社会にどう挑むか」以外には目立つ行事はありませんでした。本誌は熱く記念しましたが。

## 本誌のテーマ

## 今月号のコンセプト

- ◎資料 完成 三世代（7歳～100歳）年表 人口・流行歌・流行語
- ◎新情報 完成 ぶれない首相を支える80歳 藤井裕久党顧問に聞く
- ◎緊急提案 3000万票の底力で総選挙の芯柱を！
- ◎論考 寄稿 「人口爆発」の20世紀から「高齢化」の21世紀へ  
高齢者が活躍する場を創造しよう  
「日本長寿社会」は三世代多重型  
「高齢社会対策大綱」が閣議決定  
「高齢社会対策大綱」発表ニュース0907  
「高齢社会対策大綱」見直しが明かす10年の渋滞  
「高齢社会対策」担当大臣って誰？
- ◎国の年々の事業・活動『高齢社会白書』
- ◎自治体の対策・事業
- ◎官民協働の事業 生涯学習・地域高齢者大学校 兵庫県・いなみ野学園
- ◎高齢者意識の醸成 高齢時代のステージ 賀寿期五歳層2「喜寿期（75歳～79歳）」
- ◎人づくり 能力再開発 人づくり塾 高活ビズ・起業塾「ナノ・コーポのすすめ」  
カルチャーセンター・社会人大学
- ◎モノづくり 高齢期起業 高齢者用品・装身具・日用品小物 高年者用キャリッジ  
地域特産品（高齢者による高齢者のための）
- ◎サービス 生活支援
- ◎展示会（造る者と使う者の出会い）  
国際福祉機器展（HCR） オヤノコト展  
エキスポS65+展 シニアの祭典 エキスポS65+展  
住宅展 高年者ファッションショー
- ◎居場所づくり  
三世代のための四季型中心街（商店街） 四季のある暮らし  
三世代同等同居住宅（ファミリー・サイクル） 四季型通風住宅  
椅子（シニア・チェア）と椅子のある情景
- ◎シニア文化圏  
メディア 情報誌・本・放送・ネット  
つどい 講演・実演・句会・かこむ会  
名器・名機・古書・骨董・・・
- ◎しくみづくり 高齢者活動団体
- ◎暮らし  
道具・用具・設備類  
健康・食品・旬菜・薬膳・茶酒・健康スポーツ  
知識・技能  
屋内 陶芸・碁・将棋・麻雀・・・  
屋外 園芸・街着・旅行・・・
- ◎資料 現代シニア用語事典 分載2「高齢者意識と家庭内の高齢化」
- ◎統計 ボランティア 高齢者の社会活動と月収